

- ・顧問なしでも引率可能なので、とても助かっている。
- ・特定の部活動の強化に役立っているのみで、多忙化解消には役に立っていない。
- ・人手が増え、専門的な指導がいただけるので助かっているが、一日の従事時間が我々と異なり、制限されているため、泊まりがある場合に対応していない。また、時間数の報告や文書のやりとり等のわずらわしさが増え、忙しさはむしろより強く感じられる。直接指導員とのやりとりがあればもっと自覚を持ってもらえるのではないかな。
- ・時間制限があるため、実質完全に年間通して任せる事ができない。また、部活動が活発になるメリットがある反面、その結果、練習試合の設定や引率などで顧問の負担が増えている印象もある。

【個人調査】

5. あなたはこれまでに「夏季休暇」を何日取得しましたか			2018年	2017年	2012年
A	1日以下	49 2.3%	4.2%	6.4%	6.0%
B	2日	56 2.6%	3.6%	7.1%	6.6%
C	3日	204 9.5%	13.7%	19.2%	22.4%
D	4日	470 21.8%	23.1%	20.2%	64.8%
E	5日	1,343 62.4%	53.7%	46.6%	
BLANK		31 1.4%	1.7%	0.6%	0.3%
合計		2,153			

夏季休暇を5日間取得できている割合が増加傾向です。

9. あなたの繁忙期での1か月間の時間外勤務の合計は何時間程度になりますか			2018年	2017年	2012年
A	8時間未満	270 12.5%	10.6%	10.1%	
B	8時間～49時間	791 36.7%	36.0%	37.4%	
C	50時間～79時間	449 20.9%	21.6%	21.9%	
D	80時間～99時間	298 13.8%	12.0%	11.7%	
E	100時間以上	322 15.0%	17.4%	17.9%	
BLANK		23 1.1%	2.4%	1.1%	
合計		2,153			

過労死ラインを超える月80時間以上時間外勤務の割合は約3割です。昨年8月からタイムカードが導入され、勤務時間外状況記録簿の県教委の第1四半期の集計では、月80時間以上は昨年より増加していますが15.8%です。「岩手県教職員働き方改革プラン」では、80時間以上は前年度比3割減、100時間以上はゼロという目標になっています。

13. 昨年度に比べあなたは多忙化が解消されたと思いますか			2018年	2017年	2012年
A	だいぶ解消された	132 6.1%	5.5%	5.6%	4.7%
B	多少解消された	324 15.0%	13.1%	11.5%	12.5%
C	ほとんど変わらない	1,009 46.9%	53.0%	53.4%	52.8%
D	多忙化がすすんだ	645 30.0%	26.3%	28.5%	29.9%
BLANK		43 2.0%	2.1%	1.0%	0.2%
合計		2,153			

昨年に比べ、「だいぶ解消された」が増加している一方「多忙化がすすんだ」も増加しています。

16. 多忙化解消のために最もとりくむべきことは何だと考えますか。 1つ選んでください			2018年	2017年	2012年
A	部活動指導の改善	308 14.3%	13.1%	15.8%	12.9%
B	校務分掌等事務的業務改善	494 23.0%	24.0%	25.7%	33.4%
C	県教委諸施策の改善	158 7.4%	7.7%	8.3%	9.5%
D	教員定数の改善	981 45.6%	43.2%	38.7%	27.9%
E	その他	160 7.4%	8.2%	9.3%	11.5%
BLANK		48 2.2%	3.8%	2.2%	4.8%
MULT		4 0.2%			
合計		2,149			

昨年と同じく「教職員定数の改善」が一番多い割合でした。改善を求める声が増えるにつれて強くなっています。